

産官学の観光業界の専門家が集結し、
コロナ終息後の大阪観光を考察！
～国際観光学部開設 10 周年記念シンポジウム第 2 弾を開催～

国際観光学部を有する阪南大学（所在地：大阪府松原市、学長：田上 博司）では、国際観光学部開設 10 周年を記念し、「コロナ禍の今こそ大阪観光の未来を描く！」を共通テーマに、計 3 回にわたる連続シンポジウムを開催しています。

今回は、10 月 31 日に開催された第 1 弾の好評を踏まえ、第 2 弾として「コロナ後のインバウンドにどう備えるか」をテーマに 12 月 19 日（土）15 時からオンライン上で開催します。

【開催背景】

新型コロナウイルス感染症は未だ収束の見通しが立たず、旅行・運輸をはじめとする観光業界への影響は計り知れません。このコロナ禍における観光業界の在り方、そしてコロナ終息後の在り方について、観光の最前線でご活躍されている方々をお招きし、本学国際観光学部教員とともに議論する、計 3 回のシンポジウムを開催予定です。

今回の第 2 弾では、公益財団法人大阪観光局、関西エアポート株式会社、南海電気鉄道株式会社からパネリストをお招きし、コロナ禍の現状を共有して、コロナ終息後のインバウンドにどう向き合っていくのかを議論していきます。

【シンポジウム開催概要】

■日時 2020 年 12 月 19 日（土）15:00～16:30

■場所 オンライン上で開催

■出演者

パネリスト：井出直人（大阪観光局マーケティング戦略室）

北林弘幹（関西エアポート渉外部）

矢野到（南海電鉄グレーターなんば創造部）

司会進行：松村嘉久（阪南大学国際観光学部）

座談会進行：森重昌之（阪南大学国際観光学部学部長）

■視聴申込方法

以下のメールアドレスに参加の旨をメールしてください。

<阪南大学国際観光学部メールアドレス： tourismsym@hannan-u.ac.jp>

順次、オンライン聴講の URL を送付いたします。

■受講料等

受講料無料・定員無制限

■開催者

主催：阪南大学国際観光学部

協力：大阪観光局・関西エアポート・南海電鉄

◆Web ページからも概要をご確認いただけます。

<https://www.hannan-u.ac.jp/faculties/tourism/2020/n5fenj00000363ga.html>

※10 月 31 日に開催された第 1 弾の開催概要については以下からご覧いただけます。

<https://www.hannan-u.ac.jp/faculties/tourism/2020/n5fenj0000032slt.html>

【国際観光学部について】

阪南大学国際観光学部は、1997年に西日本の4年制大学として初めて「観光」を冠する学科として開設された原点を持ち、その後2010年に国際観光学部国際観光学科として発展的に改組し、観光産業の発展に寄与してまいりました。

教育研究領域では、文化の多様性や異文化を通じた自文化の理解を深める「観光文化」、地域資源を活かして魅力向上や地域再生を考える「観光計画」、観光を産業的・経済的に捉えて多様な問題解決をめざす「観光事業」という3つのベースを大切にしており、国際観光の過去・現在を知り、未来を考えることで、多面性を持つ国際観光学を追究しています。

本学の国際観光学部の詳細については以下のWebページからご覧いただけます。

<https://www.hannan-u.ac.jp/faculties/tourism/index.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

阪南大学 総務企画課 担当：小原（オハラ）

電話：072-332-1224（代） FAX：072-336-2633 e-mail：koho@hannan-u.ac.jp